

ナショナル 標準形テレホン

(親機 VL-471K)
(子機 VL-571K)

取扱説明書

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。



VL-471K



VL-571K

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社

このたびはナショナル標準形テレホンをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

■保証書はお求めの販売店でお受け取りのうえ、よくお読みいただき、この説明書とともに大切に保存してください。

禁止事項

- 指定以外の端子に電源(AC100V)を絶対に接続しないでください。
- 電源プラグをコンセントにさしたままセットを絶対にあけないでください。
- セット・端子・コネクタ等に水などを絶対にかけないでください。

特長

- 親機1台に子機3台まで接続でき、親機または子機よりどの局でも呼出し通話することができます。
- 親機・子機間の配線は2線(無極性)ですから誤配線をおこしません。
- 電話と同じ同時通話方式ですから使い方がかんたんです。
- 呼出音は電子音で音量は使用環境に応じて2段階にセットできます。
- 子機の増設により、会議通話ができます。

構成・付属品

- (1) 親機 VL-471K 本体(電源コード付)
 - (2) 子機 VL-571K 本体
 - (3) 壁掛金具
 - (4) 付属品 木ねじ 3.8×16mm 2本(壁掛金具取付用)
ねじ 4×25mm 2本()
- (親機、子機とも壁掛金具、付属品は、本体底部に取付けてあります。)

使い方

親機1台・子機1台接続の場合

①呼び出しをするとき

親機・子機いずれからか送受器をとりあげて「呼出」ボタンを押してください。
(このとき自局の送受器からも呼出音が小さく聞こえ、呼び出しをしているのがわかります。)

②呼び出しを受けたとき

親機・子機とも、送受器をとりあげて電話と同様に通話してください。
(「呼出」ボタンを押す必要はありません。)

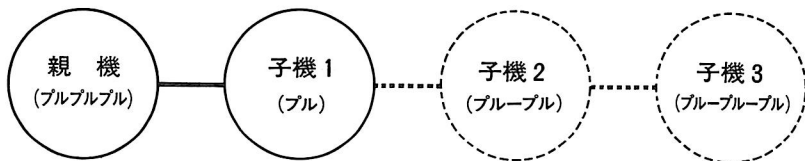
③通話が終わったら

送受器を正しく掛けてください。
(掛け方が悪いと相手局から呼び出ししても通じません)

子機2台または3台接続の場合の特殊な使いかた

①呼び出しをするとき(例)

- あらかじめ各テレホンの呼出方法をモールス符号の要領で決めておきます。
(たとえば1番の子機を呼び出すときは、呼出スイッチを1回押す、2番の子機を呼び出すときは、呼出スイッチを2回押す、3番は呼出スイッチを3回押すといった要領です。)



- 送話器をとりあげ、他のテレホンが通話中でないことを確かめてから「呼出」ボタンを押してください。
(他のテレホンが通話中だと「呼出」ボタンを押しても、相手局の呼出音は鳴りません。)

②呼び出しを受けたとき および、通話が終わったとき

左の親機1台・子機1台の場合と同じです。

③会議通話のとき

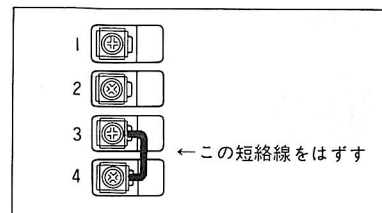
3台以上のテレホンが同時に通話したいとき(会議通話)、あらかじめ決められた呼出符号で呼び出して相互に通話してください。

④割り込み通話をするとき

送受器をとりあげ、他のテレホンが通話中でも、そのまま割り込んで通話することができます。
(「呼出」ボタンを押す必要はありません。)

⑤通話が終わったら

送受器を正しく掛けてください。
(掛け方が悪いと相手局から呼び出ししても通じません。)



●呼出音量の切替は

親機または子機の底板の端子3、4の短絡線ははずすと音量が小さくなります。

ご注意

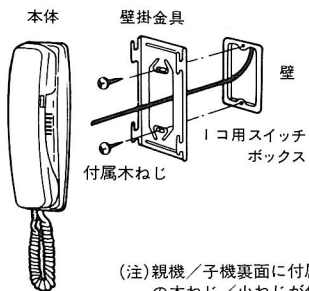
- ケースの清掃は、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときはプラスチッククリーナーか洗剤でふき取ります。シンナーなどは絶対に使わないでください。

設置場所

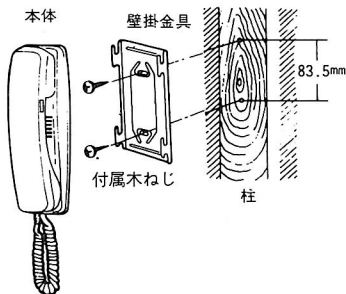
次のような場所はさけてください。

- 1) 湯気や熱気などが当る場所。
- 2) 直射日光、暖房設備、ボイラーなどのために特に温度が上昇する場所。
- 3) 製氷倉庫のように特に温度が下がる場所。
- 4) いちじむしく湿度の高い場所。
- 5) 燐、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、鉄粉、有害ガスなどを特に多く発生する場所。
- 6) 水や薬品類のかかる恐れのある場所。

本体の取付け及び外す場合



(注) 親機/子機裏面に付属の木ねじ/小ねじが付いていますので、ドライバー等で取りはずしてください。



1 本体の取付け方

壁掛 (1コ用スイッチボックスに取付ける場合)

1) 壁掛金具を付属のねじでスイッチボックスに固定します。

(注) 小型1コ用スイッチボックスカバーなしには取付けられません。

2) 壁掛金具に底板の引掛孔をはめ込み、引き下げると固定します。

柱などに直接取付ける場合

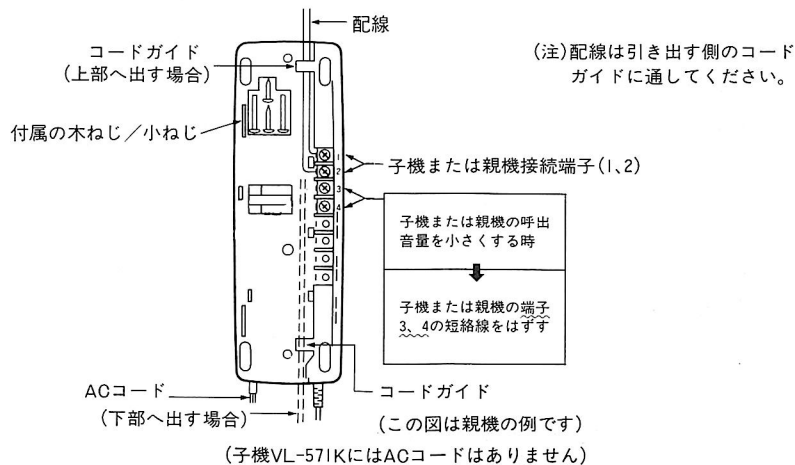
壁掛(スイッチボックスを使用しない場合)

1) 取付けようとする位置の中心に壁掛金具を付属の木ねじで取付けます。

2) 上記1)2)の要領で取付けます。

2 本体の外し方

本体を押し上げ、手前に引きます。



配線材料の選定

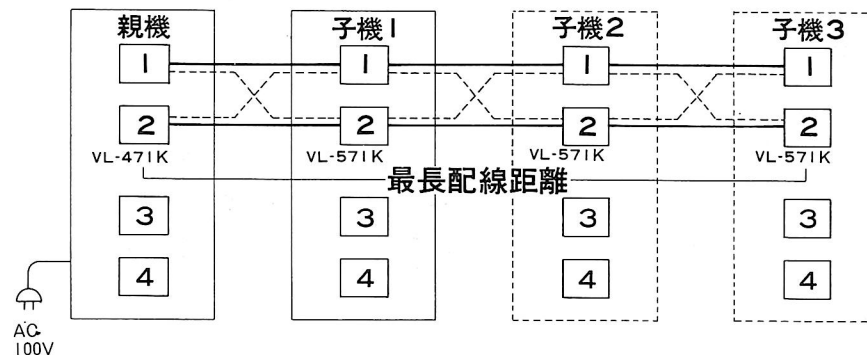
親機・子機間の配線距離		150mまで	250mまで	400mまで
電線の種類 (太さ)	より線 (素線数 / 素線径)	12本 / 0.18mm	20本 / 0.18mm	30本 / 0.18mm
	単線 (導体径)	0.65mm	0.8mm	1.0mm

● 配線材料は導体径1.2mm以下をお使いください。

配線のしかた

親機・子機の接続は極性がありませんので、各テレホンの端子番号1、2番は逆に接続しても支障はありません。(親機1台に子機3台まで接続できます)

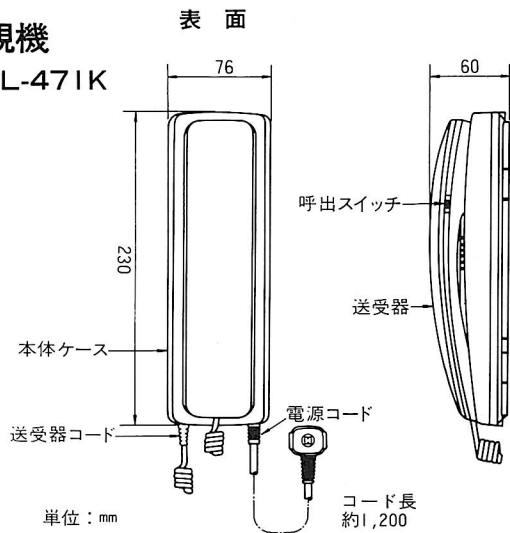
(例) (子機3台接続するときには図のようになります)



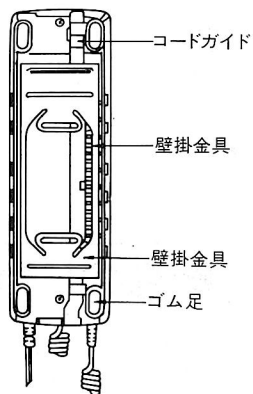
各部の名称

親機

VL-471K

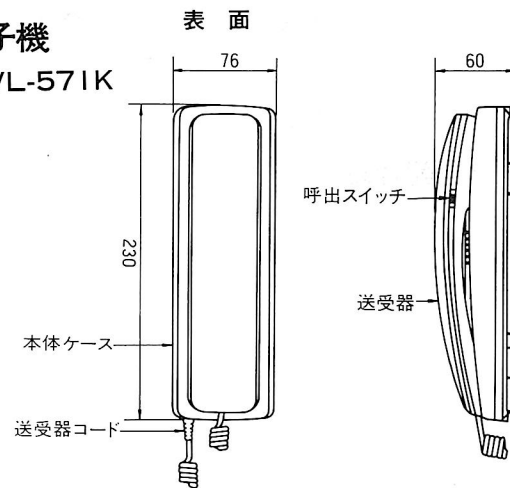


裏面

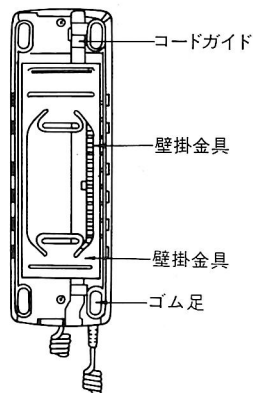


子機

VL-571K



裏面



保証・サービス

この製品には1年の保証がついております。

- ①保証書は販売店で発行しますから必ず「販売店印・保証期間」をご確認のうえよくお読みいただき、大切に保存してください。
- ②保証期間中、万一故障を生じた場合は保証書記載事項にもとづき、お求めの販売店で「無償修理」いたします。
- ③修理を依頼される前にこの取扱説明書をお読みいただき、つぎの点検をしてください。

症 状	原 因
●呼び出しも通話も全くできない。	●電源コードがコンセントからはずれていませんか。 ●配線コードが端子からはずれていませんか。
●呼出音が鳴らない。	●送受器が掛けてなかったり、不完全な掛け方になっていませんか。

以上の点を調べて、なお異常がある場合には保証書をご提示のうえサービスをご依頼してください。

- ④保証期間後のサービスについては購入店または当社指定サービス店にご相談ください。

定 格

		親機(VL-471K)	子機(VL-571K)
電 源		AC100V 50/60Hz	親機より供給
消費電流		最大2W	
通話方式		送受器による同時通話	
呼出方式		簡易トレモロ音	
配線数		2線(無極性)	
壁掛形	寸法	高さ230×幅76×奥行60mm	高さ230×幅76×奥行60mm
	重量	550g	430g

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社・AVシステム事業部

〒224 横浜市都筑区佐江戸町600番地 電話(045)932-1231(大代表) 7A0136Z9CJ